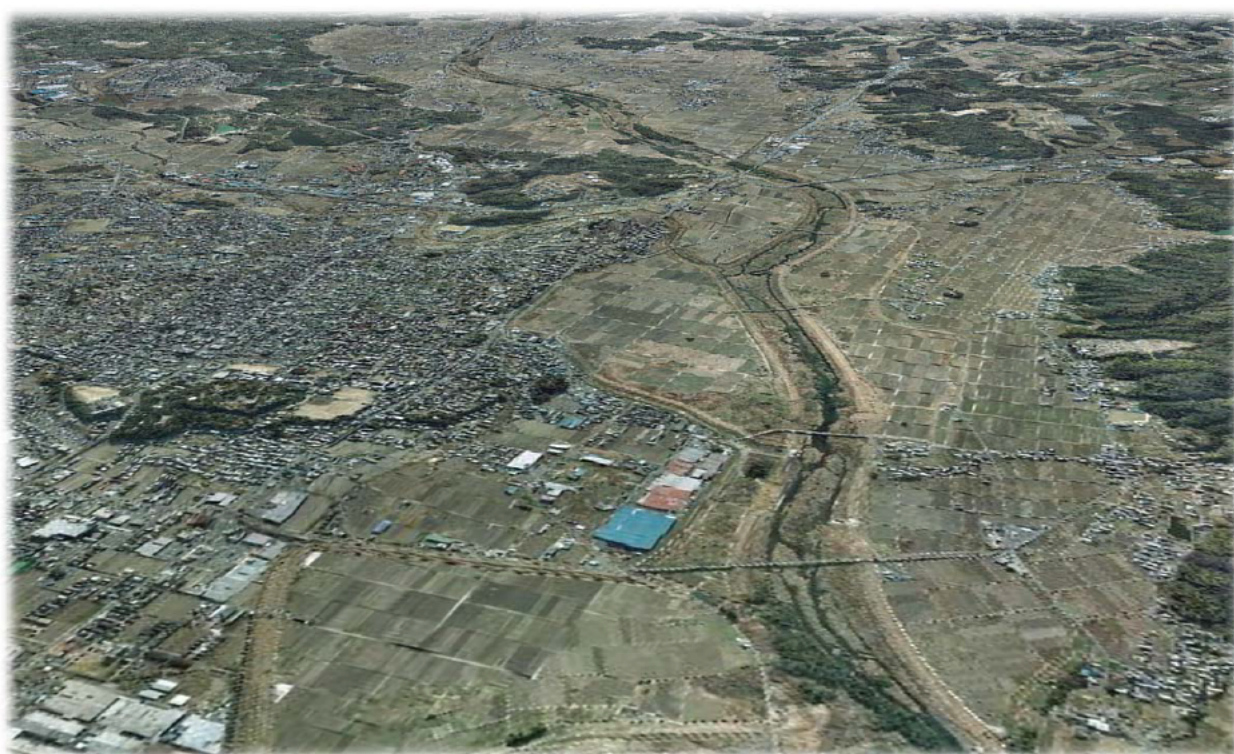


木津川 身近な生き物ガイドマップ (魚編)



三重県伊賀建設事務所

平成20年2月作成

木津川の概況

木津川は、三重県伊賀市の青山高原に水源を発し、服部川、名張川などの支川を合わせ、淀川と合流して大阪湾に注ぐ、幹川流路延長89km、流域面積1,308km²の一級河川です。流域は三重県、奈良県、滋賀県、京都府の1府3県にまたがり、全流域面積のうち山地が約98%を占めています。

河川水辺の国勢調査について

伊賀建設事務所では木津川に住んでいる生き物を調べる「河川水辺の国勢調査」を実施しています。これまでに木津川で平成6、11、16、19年度の4回、魚類調査を実施したところ、ムギツク、カマツカ、シマドジョウ、ギギ、カワヨシノボリなど合計21種が確認されました。このなかにはスナヤツメ、アカザ、メダカなど近年生息数が減少している貴重な魚が含まれている一方、外来種として問題になっているオオクチバス（ブラックバス）も平成19年度調査で見つかっています。

木津川で確認された魚



カワムツ

上流から中流の植物の陰などに生息する。単調な環境の川には少ない。



ムギツク

上流から中流の植物の陰などに生息する。三重県内では木津川流域にしか生息しない。



スナヤツメ

幼生は中流から下流の泥底に潜っている。成体になると餌をとらず、翌年に産卵して死んでしまう。



アカザ

上流から中流の、瀬の石の下や間に生息する。ひれの棘を不用意につかむと刺されて痛い。



メダカ

全長は2～4cm程度の大きさであり、流れの緩やかな水域、池などに広く生息する。



オオクチバス（ブラックバス）

池や沼、流れの緩やかな水域に生息する。魚やエビなどを大量に食べるため問題となっている。

木津川の河川環境

～早瀬～

流れが速く、白く波立っている早瀬では、川底の浮き石に隠れているアカザや、泳ぐ力が強いオイカワなどが確認されています。

～淵～

淵には2m以上の水深があり、流れの緩やかな場所を好むギンブナ、コイ、ヌマムツなどが確認されています。

～平瀬～

砂がたまっているところにはカマツカやシマドジョウ、藻類のついた石のあるところにはアユなど、平瀬では様々な環境に応じた種が確認されています。



木津川で確認された魚種一覧（平成19年度調査）

種名	環境省	三重県	伊 賀	外来 生物法	確認した環境		
					早瀬	平瀬	M型淵
スナヤツメ	VU	VU	VU				
コイ							
ギンブナ							
オイカワ							
カワムツ							
ヌマムツ							
ムギツク							
タモロコ							
カマツカ							
ズナガニゴイ		EN	DD				
イトモロコ		VU	DD				
シマドショウ							
ギギ							
アカザ	VU	VU	VU				
アユ							
メダカ	VU	NT	VU				
オオクチバス				特定			
カワヨシノボリ							

※ ■ は確認された環境

重要な種などの指定状況

環境省：レッドリストー汽水・淡水魚類ー 2007.8.3

三重県：三重県レッドデータブック 2005 動物 2006.3

伊 賀：伊賀のレッドデータブック～伊賀の希少動植物種～ 2006.7.23

EN：絶滅危惧IB類

VU：絶滅危惧II類

NT：準絶滅危惧

DD：情報不足

外来生物法：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律 2004.6.2

特定：外来生物法により特定外来生物に指定されている種



三重県伊賀建設事務所

〒518-8533

伊賀市四十九町2802 伊賀庁舎6階

電話番号：0595-24-8200

ファックス：0595-24-8241

e-mail：tkenset@pref.mie.jp